科目名

プログラミング演習

《2単位(演習)／経営福祉学科2年全期》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	現在、スマートフォンの急速な普及によりモバイルサイトの重要性が高まってきている。本講義では、webプログラミングを通じて、初歩的なプログラミング技術を習得するとともにモバイルサイトを構築するために必要な知識と技術を習得する。
到達目標	webプログラミング言語であるjavascriptを用いて、簡易なモバイルサイトが構築できる。
事前事後学習	プログラミングの演習にはキーボード操作が必要不可欠です。キーボード入力が苦にならないようにしっかりとキーボード練習をしてください。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			○

試験実施の有無	実施する	実施しない
		○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	モバイルサイト構築のための開発環境	16	ペンションサイトのシステム設計
2	HTML5概要	17	買い物かご機能の搭載1
3	HTMLの基本	18	買い物かご機能の搭載2
4	CSSの基本	19	予約システム機能の搭載1
5	javascriptの基本	20	予約システム機能の搭載2
6	jQueryMobileの基本	21	ペンションサイトの制作1
7	eビジネスとは	22	ペンションサイトの制作2
8	オンラインショッピングサイトのシステム設計	23	ペンションサイトの制作3
9	オンラインショッピングサイトの制作1	24	ペンションサイトの制作4
10	オンラインショッピングサイトの制作2	25	ペンションサイトの制作5
11	オンラインショッピングサイトの制作3	26	ペンションサイトの制作6
12	オンラインショッピングサイトの制作4	27	ペンションサイトの制作7
13	オンラインショッピングサイトの制作5	28	jQueryMobileのカスタマイズ1
14	オンラインショッピングサイトの制作6	29	jQueryMobileのカスタマイズ2
15	オンラインショッピングサイトの制作7	30	jQueryMobileのカスタマイズ3

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他（確認テスト）	70%

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	なし

科目名

医療事務

《2単位(演習)／全学科全期》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる専門知識および技術を学ぶとともに「メディカルクラーク」の称号取得を目指す。
到達目標	医療機関等における受付業務、診療報酬請求事務業務に関する能力を身につける。
事前事後学習	講義内容について復習を行い、講義期間中に課題を提出してもらう。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			○

試験実施の有無	実施する	実施しない
		○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	患者接遇／医療事務一般知識1	16	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト7
2	患者接遇／医療事務一般知識2	17	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1
3	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1	18	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1
4	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1	19	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト2
5	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト2	20	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト2
6	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト2	21	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト3
7	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト3	22	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト3
8	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト3	23	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト4
9	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト4	24	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト4
10	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト4	25	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト5
11	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト5	26	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト5
12	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト5	27	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト6
13	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト6	28	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト6
14	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト6	29	総合演習1
15	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト7	30	総合演習2

授業外学習内容とその時間	学習支援ポータルを利用して講義前に予習、講義後に復習それぞれ30分
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他（確認テスト）	70%

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	『診療報酬・完全攻略マニュアル2022-23年版』青山美智子、医学通信社
参考文献・推薦図書	
関連のある授業科目	
資格等	メディカルクラーク

科目名

日本語基礎演習

《2単位(演習)／経営福祉学科2年全期／卒業選択》

担当者	川井 和美	実務経験	

授業の概要	中級レベル（日本語能力試験N3）の文法を学びます。まず、初級で学習したことを復習しながら初中級の文法項目を学びます。それから、中級前半の文型・表現・語彙などを学びます。
到達目標	初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるようになる。日本語能力試験N3の合格を目指す。
事前事後学習	予習として、漢字の書き方と意味を調べておくこと。小テストための予習を必ず行うこと。（文字・語彙）

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	○
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
	○			

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	日本語レベルチェック（TTBJテスト）1回目	16	日本語レベルチェック（TTBJテスト）3回目
2	漢字・文法基礎1（N4）	17	文字語彙・文法（N3）10
3	漢字・文法基礎2（N4）	18	文字語彙・文法（N3）11
4	漢字・文法基礎3（N4）	19	文字語彙・文法（N3）12
5	漢字・文法基礎4（N4）	20	文字語彙・文法（N3）13
6	漢字・文法基礎5（N4）	21	文字語彙・文法（N3）14
7	文字語彙・文法（N3）1	22	文字語彙・文法（N3）15
8	文字語彙・文法（N3）2	23	文字語彙・文法（N3）16
9	文字語彙・文法（N3）3	24	文字語彙・文法（N3）17
10	文字語彙・文法（N3）4	25	文字語彙・文法（N3）18
11	文字語彙・文法（N3）5	26	文字語彙・文法（N3）19
12	文字語彙・文法（N3）6	27	文字語彙・文法（N3）20
13	文字語彙・文法（N3）7	28	文字語彙・文法（N3）21
14	文字語彙・文法（N3）8	29	文字語彙・文法（N3）22
15	日本語レベルチェック（TTBJテスト)2回目	30	日本語レベルチェック（TTBJテスト)4回目

授業外学習内容とその時間	漢字については、授業前に意味、書き方を必ず確認しておくこと。また、語彙についても意味を調べておくこと。1回ごとに、週3～5時間程度の復習を欠かさないこと。
課題のフィードバック方法	授業中で解説・講評する。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	
小テスト	20%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	20%

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	有
教室外学習	
その他	

テキスト	
参考文献・推薦図書	パターン別徹底ドリル　日本語能力試験N3／STEP式にほんご練習帳（①助詞）（②自動詞・他動詞）（③受身・使役・使役受身）（④授受表現）（⑤接続表現）（⑥接続表現）／ミチムラ式漢字カード／単語スピードマスターN3
関連のある授業科目	
資格等	なし

科目名

コンピュータリテラシー

《2単位(演習)／経営福祉学科2年前期》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	科目「コンピュータ概論」を前提知識として、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの利用スキルを証明する資格であるMOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）取得を目指す。
到達目標	MOS資格の一般レベルが取得できる。また、インターネットおよびスマートフォンを利用した基本的な情報処理操作ができる。
事前事後学習	演習中に行う演習については、時間内に終わらない場合は必ず次の演習までに終えておくこと。また、小テストを行うこともあるので、必ず前回の復習をしておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
	○			○

試験実施の有無

実施する	実施しない
	○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	MOS（Word一般レベル）1	16	MOS（Excel一般レベル）9
2	MOS（Word一般レベル）2	17	MOS（Excel一般レベル）10
3	MOS（Word一般レベル）3	18	MOS（Excel一般レベル）11
4	MOS（Word一般レベル）4	19	MOS（Excel一般レベル）12
5	MOS（Word一般レベル）5	20	MOS（Excel一般レベル）13
6	MOS（Word一般レベル）6	21	MOS（Excel一般レベル）14
7	MOS（Word一般レベル）7	22	MOS（PowerPoint一般レベル）1
8	MOS（Excel一般レベル）1	23	MOS（PowerPoint一般レベル）2
9	MOS（Excel一般レベル）2	24	MOS（PowerPoint一般レベル）3
10	MOS（Excel一般レベル）3	25	MOS（PowerPoint一般レベル）4
11	MOS（Excel一般レベル）4	26	MOS（PowerPoint一般レベル）5
12	MOS（Excel一般レベル）5	27	MOS（PowerPoint一般レベル）6
13	MOS（Excel一般レベル）6	28	MOS（PowerPoint一般レベル）7
14	MOS（Excel一般レベル）7	29	情報セキュリティ
15	MOS（Excel一般レベル）8	30	まとめ

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他（確認テスト）	70%

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	MOS Word 2016,MOS Excel 2016

科目名

コンピュータ概論

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	Windows10およびOffice2016を利用し、コンピュータの基本的な知識を学ぶとともにプレゼンテーションを行う際に必要となる資料作成知識および技術を学ぶ。また、インターネットを使っていく上で習得しておくべき情報セキュリティや情報モラルについても学ぶ。
到達目標	さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できる。
事前事後学習	講義中に練習問題を出すので、しっかりと復習しておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○	○			

試験実施の有無	実施する	実施しない
		○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	
1	コンピュータの基本操作、情報セキュリティ		
2	プレゼンテーションの作成と編集1		
3	プレゼンテーションの作成と編集2		
4	テキスト、図形、画像の挿入と編集1		
5	テキスト、図形、画像の挿入と編集2		
6	表、グラフ、SmatArt、メディアの挿入と設定1		
7	表、グラフ、SmatArt、メディアの挿入と設定2		
8	特殊効果の設定とスライドショー1		
9	特殊効果の設定とスライドショー2		
10	プレゼンテーションの管理1		
11	プレゼンテーションの管理2		
12	プレゼンテーションの印刷と仕上げ		
13	表計算ソフトの利用4		
14	表計算ソフトの利用5		
15	まとめ		

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	
小テスト	20%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	20%
その他（確認テスト）	60%

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	MOS PowerPoint 2016

科目名	ファイナンシャル・プランニング Ⅰ 《1単位(演習)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》
担当者	宇野木 広樹
実務経験	
授業の概要	我々の生活において必ず必要なものは「お金」です。そしてこの「お金」をどのように使っていくのかで我々の生活は大きく変わります。人生のどのような場面・タイミングでどのようにお金を使うのかということは悩ましい問題です。「年金」、「保険」、「株式・預貯金などの金融資産」、「税金」、「不動産」、「相続」などに共通するものは「お金」であり、この「お金」の悩みに答えるのが、ファイナンシャル・プランナーという専門家です。 本講義では、ファイナンシャル・プランナーとして必要な知識の中で、「ライフプランニングと資金計画」と「リスクマネジメント」について解説していきます。
到達目標	ファイナンシャル・プランナー3級試験に出題される、「ライフプランニングと資金計画」と「リスクマネジメント」に関する問題を解けるようになる。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
	ファイナンシャル・プランナーと倫理		
	ライフプランニングの手法		
	ライフプラン策定上の資金計画		
	社会保険		
	公的年金の全体像		
	公的年金の給付		
	企業年金など		
	年金と税金		
	小テスト1		
	保険の基本		
	生命保険		
	損害保険		
	第三分野の保険		
	小テスト2		
	まとめ		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	100%
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	『みんなが欲しかった！FPの教科書('24-'25年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
参考文献・推薦図書	『みんなが欲しかった！FPの問題集('24-'25年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
関連のある授業科目	ファイナンシャル・プランニングⅡ、ファイナンシャル・プランニングⅢ
資格等	ファイナンシャル・プランニング3級取得に関連

科目名	ファイナンシャル・プランニングⅡ 《1単位(演習)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》
担当者	宇野木 広樹
実務経験	
授業の概要	我々の生活において必ず必要なものは「お金」です。そしてこの「お金」をどのように使っていくのかで我々の生活は大きく変わります。人生のどのような場面・タイミングでどのようにお金を使うのかということは悩ましい問題です。「年金」、「保険」、「株式・預貯金などの金融資産」、「税金」、「不動産」、「相続」などに共通するものは「お金」であり、この「お金」の悩みに答えるのが、ファイナンシャル・プランナーという専門家です。 本講義では、ファイナンシャル・プランナーとして必要な知識の中で、「金融資産運用」と「タックスプランニング」について解説していきます。
到達目標	ファイナンシャル・プランナー3級試験に出題される、「金融資産運用」と「タックスプランニング」に関する問題を解けるようになる。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
	金融・経済の基本		
	セーフティネットと関連法規、貯蓄型金融商品		
	債券		
	株式		
	投資信託		
	外貨建て金融商品、金融商品と税金		
	ポートフォリオとデリバティブ取引		
	小テスト1		
	所得税の基本		
	各所得の計算		
	課税標準の計算		
	所得控除		
	税額の計算と税額控除		
	所得税の申告と納付、個人住民税、個人事業税		
	小テスト2		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	
小テスト	40%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	『みんなが欲しかった！FPの教科書('24-'25年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
参考文献・推薦図書	『みんなが欲しかった！FPの問題集('24-'25年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
関連のある授業科目	ファイナンシャル・プランニングⅡ、ファイナンシャル・プランニングⅢ
資格等	ファイナンシャル・プランニング3級取得に関連

科目名	ファイナンシャル・プライニングⅢ 《2単位(実習)／経営福祉学科2年前期／選択必修》
担当者	川井 健次
実務経験	
授業の概要	我々の生活において必ず必要なものはお金です。そしてこのお金をどのように使っていくかで我々の生活は大きく変わります。「不動産」、「相続」に関するお金の悩み答えるのが、ファイナンシャル・プランナーです。本講義では、「不動産」と「相続」について解説します。
到達目標	ファイナンシャル・プランナー3級試験に出題される、「不動産」と「相続」について解説します。
事前事後学習	各回のテーマに示されている問題に沿って、わかりやすく解説します。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	不動産の基本		
2	不動産取引		
3	不動産に関する法令		
4	不動産の税金		
5	不動産の有効活用		
6	小テスト		
7	相続の基本		
8	相続税①		
9	相続税②		
10	相続税の計算①		
11	相続税の計算②		
12	贈与税		
13	贈与税の計算		
14	資産のまとめ		
15	小テスト		

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	70%
レポート	
小テスト	15%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	15%
その他（実習）	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	みんなが欲しかった！FPの教科書（’21ー’22年版）TAC出版
参考文献・推薦図書	
関連のある授業科目	相続税法　法学Ⅰ、法学Ⅱ
資格等	なし

科目名

ライフプランニングⅢ

《1単位(演習)／経営福祉学科2年前期／卒業必修》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	進路指導と、各自の個性に応じた専門知識と技術の修得を行う。
到達目標	1年次に身につけた知識や技術をもとに具体的に進路決定のために行動する。
事前事後学習	随時指示する。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			

試験実施の有無	実施する	実施しない
		○

授業計画（項目・内容）

回	前期		回	後期
1	オリエンテーション 履修指導及び進路志望調査			
2	進路指導 全体指導　業種、職種などについて			
3	進路指導 全体指導　就活サイト登録など			
4	研修	キャリアデザイン (グループワーク)		
5				
6	研修	キャリアデザイン (グループワーク)		
7				
8	キャリア開発	資格取得支援		
9	キャリア開発	資格取得支援		
10	キャリア開発	資格取得支援		
11	キャリア開発	資格取得支援		
12	キャリア開発	資格取得支援		
13	キャリア開発	資格取得支援		
14	キャリア開発	資格取得支援		
15	キャリア開発	資格取得支援		

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	70%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	有
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	有
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	随時紹介します。
関連のある授業科目	ライフプランニングⅣ
資格等	

科目名

会計学

《4単位(講義)／経営福祉学科2年前期／選択必修》

担当者	川井 健次	実務経験	

授業の概要	企業の会計はお金の処理から始まり、財務諸表（貸借対照表・損益計算書等）の作成へと続く一連の手続きである。この会計手続きの流れを把握し、財務諸表を作成する力、財務諸表を理解する力を講義を通じて身につけてもらいたい。
到達目標	それぞれの会社において作成される財務諸表の内容を理解できる力を身につける。財政状態を表す賃借対照表・収益力を表わす損益計算書の内容を理解する力である。
事前事後学習	授業計画のぞれぞれのテーマに関連するテキストの箇所を事前によく読んでおくこと。ホワイドボードのに板書したことをノートに取り整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	○

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	前期
1	会計の構造①　財務計算の意味	16	貸借対照表原則②繰延資産の会計処理Ⅰ
2	会計の構造②　損益計算の意味	17	貸借対照表原則③繰延資産の会計処理Ⅱ
3	会計の目的①会計の目的とは？	18	財務諸表の理解①収益力を見るⅠ
4	会計の目的②財務諸表の意味	19	財務諸表の理解②収益力を見るⅡ
5	会計公準　会計公準とは？	20	財務諸表の理解③資本収益率を見る。
6	一般原則①真実性の原則	21	財務諸表の理解④金利支払い能力Ⅰ
7	一般原則②正規の簿記の原則	22	財務諸表の理解⑤金利支払い能力Ⅱ
8	一般原則③継続性の原則	23	財務諸表の理解⑥損益分岐点の理解Ⅰ
9	一般原則④明瞭性の原則	24	財務諸表の理解⑦損益分岐点の理解Ⅱ
10	一般原則⑤単一性の原則	25	財務諸表の理解のまとめ
11	一般原則⑥保守主義の原則	26	財務諸表の作成①試算表Ⅰ
12	損益計算書原則①発生主義の原則	27	財務諸表の作成②試算表Ⅱ
13	損益計算書原則②実現主義の原則	28	財務諸表の作成③精算表Ⅰ
14	損益計算書原則③費用収益対応の原則③	29	財務諸表の作成④精算表Ⅱ
15	貸借対照表原則①貸借対照表3原則	30	財務諸表の作成まとめ

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	70%
レポート	15%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	15%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	{財務会計講義」桜井久勝　中央経済社
参考文献・推薦図書	「財務会計の原理」宇南山英夫編著　税務経理協会
関連のある授業科目	簿記・簿記演習
資格等	なし

科目名

倫理学Ⅰ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	坂本 哲朗	実務経験	

授業の概要	「人間って本当にいいものかしら」という言葉が、児童文学作品の中にある。青年期の学生が社会有用の人材として、本物の大人、社会人になるためには、人間とは何かについて学びあい、より良く生きることについて考える習慣を身につけたり、結論を得たりする必要がある。スポーツ、ビジネスなどの応用倫理学で思考を深め、生き方を探る。
到達目標	・人間とは何か、私は何かなどの疑問や課題を把握することができる。 ・発見した課題について主体的に取り組み、個としての結論を得ることができる。 ・自己の思考判断や結論をもとに、他者との比較検討や議論により、学び合いができる。 ・「人間とは何か」について、自己の表現力、表現方法で伝えようとすることができる。
事前事後学習	日常的に善悪や生き方について関心を持ち、責任ある行動を取ろうと心がけて生活する。 「より良く生きる」「我は我なり」などの言葉との出会いを大切にし、記録に留めておく。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
	○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	ようこそ倫理学「人間って本当にいいものかしら」		
2	道徳教育Ⅰ　人間の魅力と魔力		
3	道徳教育Ⅱ　重要ポイントと展望		
4	義務と責任Ⅰ		
5	義務と責任Ⅱ		
6	善と悪Ⅰ		
7	善と悪Ⅱ		
8	表現の自由Ⅰ		
9	表現の自由Ⅱ		
10	スポーツは公平・平等Ⅰ		
11	スポーツは公平・平等Ⅱ		
12	貨幣の倫理学Ⅰ		
13	貨幣の倫理学Ⅱ		
14	小論文作成		
15	小論文発表会・意見交流		

授業外学習内容とその時間	新聞やメディアなどを活用し，時事問題に着目。 ノートに記録し，講義内活動に活用。
課題のフィードバック方法	毎回の講義内容について，自らの思考判断を10分で400字に表現する。 質問等については，次回までに個別または全体に指導する。

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	45%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	10%
平常点・授業への貢献度	45%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	有
プレゼンテーション	有
スピーチ	有
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	「本当にわかる倫理学」田上孝一 日本実業出版社
参考文献・推薦図書	「もういちど読む山川倫理」小寺 聡 山川出版社、「熊本の心」熊本県教育委員会編
関連のある授業科目	倫理学Ⅱ
資格等	なし

科目名

国際経済論

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	現在、世界的に所得と資産の格差が拡大してきている。このままでは、富めるものはますます富み、貧しいものはますます貧しくなるのか。この事を考える為に、所得と資産の格差が起こるメカニズムを理論とデータを用いて説明していきます。また、近年急速に経済成長してきているBRICsの状況を解説していきます。
到達目標	所得・資産格差の発生メカニズムを理解するとともに、近年の国際事情を理解する。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	所得・資産格差の拡大		
2	所得格差拡大の原因(1)		
3	所得格差拡大の原因(2)		
4	所得格差拡大の原因(3)		
5	所得格差拡大の原因(4)		
6	所得格差拡大の原因(5)		
7	サブプライムローン問題		
8	欧州金融危機		
9	中華人民共和国（1）		
10	中華人民共和国（2）		
11	インド		
12	ロシア		
13	ブラジル		
14	まとめ		
15	まとめ		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	40%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『21世紀の資本』, トマ・ピケティ著, 山形浩生他訳, みすず書房
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、経済統計
資格等	なし

科目名

所得税法

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	礒部 雄大	実務経験	税理士

授業の概要	確定申告に必要とされる所得税法の知識を習得します。 全て国民は納税の義務を負っています。個人事業者、給与所得者等その年度中に何らかの収入があった国民は確定申告等をすることにより、所得税を支払わなければなりません。所得税等の税金により「国」は運営されています。税金のうちでも重要であり、かつ生活に密着した所得税の仕組みを解説します。
到達目標	収入・所得のある人は、確定申告等により、すべて所得税を「国」に納付しなければならないことになっています。そこで、所得税に関する基本的な事項について理解します。例えば、所得の種類・必要経費・源泉徴収制度・所得税控除等の意味を理解します。
事前事後学習	授業計画のそれぞれのテーマに関連するテキストの個所を事前によく読んでおくこと。 ホワイトボードに板書したことをノートにとり整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	所得税制度のあらまし①所得とは？		
2	所得税制度のあらまし②課税所得の内容		
3	所得税制度のあらまし③変動所得・臨時所得他		
4	所得税制度のあらまし④源泉徴収制度		
5	所得税制度のあらまし⑤青色申告制度		
6	所得金額の計算①収入金額の計算　1		
7	所得金額の計算②収入金額の計算　Ⅱ		
8	所得金額の計算③必要経費の計算　1		
9	所得金額の計算④必要経費の計算　Ⅱ		
10	所得金額の計算⑤所得税控除等について		
11	所得金額の計算⑥事業所得金額の計算		
12	所得金額の計算⑦不動産所得金額の計算		
13	所得金額の計算⑧給与所得金額の計算		
14	所得金額の計算⑨その他所得金額の計算		
15	所得税制度まとめ		

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	50%
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	50%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	無
プレゼンテーション	無
スピーチ	無
ロールプレイ	無
教室外学習	無
その他	

テキスト	「新暮らしの税金百科」 財団法人納税協　清文社
参考文献・推薦図書	「やさしい所得税」 税務経理研究協会
関連のある授業科目	会計学
資格等	なし

科目名

相続税法

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／選択必修》

担当者	川井 健次	実務経験	

授業の概要	民法に定める相続に関する基礎知識について解説する。 相続税の基本的な計算のしくみについて解説する。
到達目標	民法に定める相続に関する基礎知識（相続・法定相続人・法定相続分・遺留分・遺言等）を理解し、相続税の基本的な計算のしくみが理解できるようになること。
事前事後学習	授業計画におけるテキストの該当箇所を事前に読み、授業中に板書したことをノートにとり、理解が出来なかった点を確認し、質問するように努めること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	オリエンテーション		
2	相続の基礎知識Ⅰ（承認・放棄）		
3	相続の基礎知識Ⅱ（法定相続人・法定相続分）		
4	相続の基礎知識Ⅲ（遺留分・遺言書）		
5	贈与税と相続税の関係		
6	相続税の計算のしくみⅠ（申告期限と申告方法）		
7	相続税の計算のしくみⅡ（相続財産）		
8	相続税の計算のしくみⅢ（みなし相続財産）		
9	相続税の計算のしくみⅣ（基礎控除）		
10	相続税の計算のしくみⅤ（財産評価）		
11	相続税の計算のしくみⅥ（小規模宅地の特例）		
12	相続税の計算のしくみⅦ（配偶者の税額軽減）		
13	相続税の計算のしくみⅧ（相続時精算課税）		
14	納付税額の計算Ⅰ（各種税額控除）		
15	納付税額の計算Ⅱ（税額計算）		

授業外学習内容とその時間	授業前予習30分、復習30分
課題のフィードバック方法	事業計画にあるそれぞれのテーマについて説明を進める。ポイントをしっかり押さえて理解する。

成績評価方法	評価割合
定期試験	70%
レポート	
小テスト	15%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	15%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他　ケースメソッド	有

テキスト	新くらしの税金百科　2020～2021　清文社
参考文献・推薦図書	なし
関連のある授業科目	所得税法
資格等	なし

科目名

経営学Ⅰ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期　選択必修》

担当者	川井 健次	実務経験	

授業の概要	今日、企業を取り巻く環境はますます厳しくなってきている。貿易摩擦、リストラ、環境に対する企業責任、不良債権処理など、企業の個別対応だけでは解決できない課題が山積の状況である。しかし、企業は存続、維持されるべき宿命を負わされている。そこで、経営学Ⅰの講義でこれらの諸問題解決の糸口を理解してもらいたい。
到達目標	資本主義社会における会社の役割、企業の国際化、これからの企業の社会的責任に対する理解を深める。
事前事後学習	授業計画のそれぞれにテーマに関連するテキストの箇所を授業前に読んでおくこと。ホワイトボードに記述したことをノートにとり、整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	○
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	企業の意義と役割①資本主義社会と社会主義社会		
2	企業の意義と役割②大企業と中小企業の区別		
3	企業の歴史①企業発展の歴史		
4	企業の歴史②生・家業、人的私企業		
5	企業の歴史③資本的私企業		
6	企業の歴史④現代企業		
7	企業の国際化①国際化の意義・動機		
8	企業の国際化②国際化の課題		
9	企業の国際化③経営資源の移転戦略		
10	企業の国際化④金融危機の問題		
11	会社形態　合名・合資・有限・株式		
12	株式会社①株式の意味		
13	株式会社②株式会社の現代的特徴		
14	株式会社③株式会社のガバナンス		
15	株式会社④株式会社の長所・短所		

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	70%
レポート	15%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	15%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	講義の時、資料としてレジュメを配布
参考文献・推薦図書	経営学入門・水口剛著（TAC出版）
関連のある授業科目	経営学Ⅱ
資格等	なし

科目名

経済学Ⅰ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	我々は周囲の人々との色々な関係の中で生活しています。個人の行動は少なからず、周囲の人々の行動に影響を与え、それが社会全体への影響として波及していきます。集団的意思決定メカニズムでは、結果が自分ひとりの行動によって決まるのではなく、相手の行動によっても異なります。このように、複数の主体が相互に依存し合う状況をゲーム理論を用いて簡潔に表現し、理解していきます。また、家計や企業の経済行動を考えるミクロ経済学の基礎的な部分を、身の回りの状況に照らし合わせながら解説していきます。
到達目標	ミクロ経済学とゲーム理論とはどのようなものか、消費者行動の理論、生産者行動の理論、戦略形ゲーム、展開形ゲームなどを理解する。公務員試験などで出題される問題を解けるようになる。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	経済学とは何か		
2	需要と供給		
3	市場均衡		
4	均衡に影響を与える要因		
5	限界効用均等の法則		
6	限界生産力		
7	利潤最大化条件		
8	小テスト（1）		
9	インセンティブと均衡		
10	戦略形ゲーム(1)		
11	戦略形ゲーム(2)		
12	展開形ゲーム(1)		
13	展開形ゲーム(2)		
14	展開形ゲーム(3)		
15	小テスト（2）		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	
小テスト	40%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『ミクロ経済学戦略的アプローチ』, 梶井厚志、松井彰彦著, 日本評論社
関連のある授業科目	経済学Ⅱ、総合政策論、経済統計
資格等	なし

科目名

総合政策論

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	現在の日本経済は、長期に渡る経済不況、労働状況の悪化、社会保障費の増大、財政赤字の増加、急速に進む少子高齢化など、様々な問題を抱えている。これらの問題はそれぞれが密接な関係を持っており、問題解決のためには幅広い分野の知識が必要である。本講義では、日本経済が抱える問題を明らかにするとともに、その問題に対する解決策を解説する。
到達目標	総合政策の目的と課題を理解し、様々な問題に対する政策を理解する。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	我が国の財政状況		
2	日本銀行の機能と円高円安の影響		
3	21世紀の日本		
4	人口高齢化、社会保障、経済成長の関係性		
5	社会保障制度		
6	社会保障制度の歴史		
7	公的年金の特徴		
8	公的年金の仕組み		
9	日本の医療保険の仕組みと歴史		
10	医療サービス市場の特殊性		
11	プレミアム付き商品券		
12	衆議院・参議院選挙		
13	男女共同参画		
14	まとめ		
15	まとめ		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	40%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『福祉の総合政策』, 駒村康平著, 創成社
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、経済統計
資格等	なし

科目名

色彩学

《2単位(講義)／全学科前期》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	ユニバーサルデザインの視点から色彩とは何かを理解するとともに色彩設計および配色デザインを理解し、色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色の使い方をアドバイスできる能力を習得する。
到達目標	色彩検定協会認定UCアドバイザー資格を取得できる能力を身につける。
事前事後学習	講義内容について復習を行い、講義期間中に課題を提出してもらう。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	○
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○	○			

試験実施の有無	実施する	実施しない
		○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
1	色のユニバーサルデザイン		
2	色が見えるしくみ1		
3	色が見えるしくみ2		
4	色が見えるしくみ3		
5	色の表し方1		
6	色の表し方2		
7	色の表し方3		
8	色覚のタイプによる色の見え方		
9	高齢者の見え方		
10	色のUDの進め方1		
11	色のUDの進め方2		
12	色彩検定UD級対策1		
13	色彩検定UD級対策2		
14	色彩検定UD級対策3		
15	まとめ		

授業外学習内容とその時間	学習支援ポータルを利用して講義前に予習、講義後に復習それぞれ30分
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他（確認テスト）	70%

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	『色彩検定公式テキストUC級』日本色彩研究所、色彩検定協会
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	
資格等	色彩検定協会認定UCアドバイザー資格

科目名

英会話Ⅰ

《2単位（演習）／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	村橋 哲也	実務経験	

授業の概要	会話に必要不可欠な英文法を学び、日常会話に必要な英語を覚えて話すだけでなく、自分の意見や感情を表現できるように練習します。
到達目標	簡単な日常会話に必要な英語をマスターするだけでなく、自分の意見や感情を表現できるようになることを目的とします。
事前事後学習	予習、復習に加え、クラスでの積極的な姿勢を期待します。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	前期
1	主語・動詞・基本文型1	16	助動詞2
2	主語・動詞・基本文型2	17	助動詞3
3	主語・動詞・基本文型3	18	前置詞1
4	名詞1	19	前置詞2
5	名詞2	20	WH修飾1
6	名詞3	21	WH修飾2
7	形容詞1	22	WH修飾3
8	形容詞2	23	WH修飾4
9	副詞1	24	Welcome to Engllish Class!
10	副詞2	25	May I ask your name?
11	比較1	26	What does your sister do?
12	比較2	27	How often do you eat out?
13	否定1	28	What do you like to do?
14	否定2	29	Is there a convenience store near here?
15	助動詞1	30	Are there class rules?

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	50%
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	30%
平常点・授業への貢献度	20%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	有
スピーチ	有
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	GET BY IN ENGLISH 1 ″Starter″ Julyan Nutt et.al. SANSHUSHA
参考文献・推薦図書	一億人の英文法　大西泰斗、ポール・マクベイ
関連のある授業科目	英会話II
資格等	

科目名

英語応用

《1単位(演習)／経営福祉学科2年前期／卒業選択》

担当者	村橋 哲也	実務経験	

授業の概要	英語基礎で学んだ文法を確実に身につけ、それらを実戦に活かすために、英文を読み、日本語、英語で要約をする。英文の読解力だけでなく、自らの考えを英語で表現する練習をしていく。
到達目標	自らの考えを表現できるように英文法に加えて、様々な英語表現を学び、総合的な英語力を養う。そうすることによって、 読む、書く、話すなど実践的英語力を身につける。
事前事後学習	英語基礎で学んだ単語や文法の復習をする。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	Noodles		
2	Mysterious Object		
3	Baskin-Robbins		
4	Dealing with ″Claimers″		
5	Haunted Campus?		
6	Solo Artist Are More Popular		
7	Headphones		
8	Where Did the Moon Come From?		
9	Road Rage		
10	Irritating Things on the Traine		
11	Live Action Versions of Animated Movies		
12	Tapioca and Bubble Tea		
13	Animal Beauty Contests		
14	Energy Drinks		
15	Places Near to Japan That Are Good foe Studying English		

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	50%
レポート	
小テスト	
発表(プレゼン・スピーチ等)	20%
平常点・授業への貢献度	30%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	有
スピーチ	有
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	READ ON, THINK ON ″ 考える基礎英語読本″ Jonathan Lyfnch, et.al. SANSHUSHA
参考文献・推薦図書	
関連のある授業科目	英語基礎
資格等	

科目名

データ分析

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	世の中にはたくさんのデータがあります。それらのデータを上手く活用する事で様々な関係性が分かってきます。しかし、データを上手く活用するためには適切な分析方法を理解し、使いこなす必要があります。本講義ではデータを分析するための様々な手法を解説し、EXCELを用いて分析を行っていきます。
到達目標	様々なデータ分析手法を理解し、EXCELで分析を行う事が出来るようになる。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
		1	平均と分散
		2	信頼区間
		3	散布図と相関
		4	相関係数
		5	無相関検定
		6	回帰直線
		7	偏相関
		8	重回帰
		9	相関行列
		10	因子分析
		11	カイ2乗検定
		12	t検定（対応なし）
		13	t検定（対応あり）
		14	分散分析（1要因）
		15	分散分析（2要因）

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	40%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『統計学がわかる-ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学-』向後千春、冨永敦子著　技術評論社 『統計学がわかる-回帰分析・因子分析編　アイスクリームで味わう、″関係″の統計学』 向後千春、冨永敦子著　技術評論社
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	なし

科目名

ライフプランニングⅣ

《1単位(演習)／経営福祉学科2年後期／卒業必修》

担当者	村上 幸生	実務経験	

授業の概要	進路指導と、各自の個性に応じた専門知識と技術の修得を行う。
到達目標	進路を決定し社会人になるための準備をする。
事前事後学習	随時指示する。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			

試験実施の有無	実施する	実施しない
		○

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期	
		1	オリエンテーション 後期オリエンテーション及び進路決定状況調査	
		2	進路指導 ゼミ別に進路指導	
		3	進路指導 ゼミ別に進路指導	
		4	研修	学園祭について話し合い
		5		学園祭の準備
		6	研修	学園祭への参加
		7		学園祭への参加
		8	キャリア開発	資格取得支援
		9	キャリア開発	資格取得支援
		10	キャリア開発	資格取得支援
		11	キャリア開発	資格取得支援
		12	キャリア開発	資格取得支援
		13	キャリア開発	資格取得支援
		14	キャリア開発	資格取得支援
		15	キャリア開発	資格取得支援

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	
レポート	70%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	有
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	有
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	随時紹介します。
関連のある授業科目	ライフプランニングⅢ
資格等	

科目名

中小企業論

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	現在の日本経済を支えているのは一部の大企業ではなく、多くの中小企業である。中小企業は国民経済の礎であり、様々な技術やノウハウを持っている。中小企業の現状と特徴を理解することは、日本の経済、産業、流通、労働などを理解することにつながる。本講義では、中小企業を様々な観点から解説するとともに、学生の中小企業への理解の深化と関心を高める事を重視して進めていく。
到達目標	中小企業が経済において果たす役割と重要性、日本の中小企業の特徴を理解する。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	○
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
		1	中小企業とは何か、中小企業をとりまく経営環境
		2	中小企業の特質と経営問題
		3	中小企業が抱える経営問題に対する課題と方策
		4	下請システムと中小企業
		5	下請けシステムの生成と発展
		6	中小企業と雇用不安・格差問題
		7	中小企業と金融問題
		8	公的金融と地域金融機関
		9	産業集積の概念と理論
		10	柔軟な専門化論、産業クラスター論
		11	日本企業の海外進出の現状（1）
		12	日本企業の海外進出の現状（2）
		13	日本企業の中国への進出
		14	東アジアでの事業展開
		15	まとめ

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	40%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『現代中小企業論』, 高田亮爾 他著, 2013年版, 同友館
関連のある授業科目	経済学Ⅰ・経済学Ⅱ
資格等	なし

科目名

経営学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期　選択必修》

担当者	川井 健次	実務経験	

授業の概要	経営学Ⅰにおいて学んだ経営学に対する基礎的理解を前提にして、今日の経営学の課題に積極的に挑戦してみたい。
到達目標	人はなぜは働くか、について人の欲求にまで深めて理解する。また会社側および働く側双方から、働く意欲(インセティブ)の意味を考える。さらに、日本的経営について、これまでとこれからについて理解する。
事前事後学習	授業計画のそれぞれにテーマに関連するテキストの箇所を授業前に読んでおくこと。ホワイトボードに記述したことをノートにとり、整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	○
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
		1	人の欲求①　マズローの欲求・生理的欲求、安全欲求
		2	人の欲求②　マズローの欲求・愛情欲求、尊厳欲求
		3	人の欲求③　マズローの欲求・自己実現欲求
		4	組織のインセンテイブ①物的インセンテイブ
		5	組織のインセンテイブ②評価的インセンテイブ
		6	組織のインセンテイブ③理念的インセンテイブ
		7	組織のインセンテイブ④自己実現的インセンテイブ
		8	企業文化①企業文化とは
		9	企業文化②活力ある企業文化
		10	企業文化③澱んでいる企業文化
		11	日本的経営①日本的経営とは
		12	日本的経営②終身雇用
		13	日本的経営③年功主義
		14	日本的経営④企業別組合・社内教育
		15	経営学Ⅱのまとめ

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	70%
レポート	15%
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	15%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	講義の中で資料としてレジュメ配布
参考文献・推薦図書	参考図書：経営学入門・水口剛著（TAC出版）
関連のある授業科目	経営学Ⅱ
資格等	なし

科目名

経済学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	人々の意見を集めてその中から望ましい選択肢を選び出すルールを集約ルールといいます。代表的な集約ルールは単純多数決であり、我々は普段から良く用いています。しかし、単純多数決よりもより優れた集約ルールがたくさん存在します。より良い集約ルールを社会全体の意思決定に用いる事で、我々の意思が反映される社会が実現されるのです。 本講義では、社会選択論を基礎として、様々な集約ルールを紹介し、それらの特徴を解説していきます。最終的に日本の憲法改正要件に関して、理論的に考えていきます。
到達目標	様々な集約ルールを理解し、実際に意見集約の際に最適な集約ルールを用いる事が出来るようになる。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
		1	順序関係と選好
		2	選好関係
		3	選択構造
		4	独立投票モデル
		5	ペア敗者基準
		6	スコアリングルール
		7	小テスト（1）
		8	ペア勝者基準
		9	多数決ルール
		10	コンドルセ・ヤングの最尤法
		11	マルケヴィッチの反例
		12	オストロゴルスキーのパラドックス
		13	単峰性と中位投票者定理
		14	憲法改正を考える
		15	小テスト（2）

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	
小テスト	40%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『多数決を疑う−社会的選択理論とは何か−』,坂井豊貴著, 岩波新書
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、総合政策論、経済統計
資格等	なし

科目名

経済統計

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期／卒業選択》

担当者	宇野木 広樹	実務経験	

授業の概要	日本経済の現状を理解するためには、様々な経済統計を参照する必要があり、経済統計の理解が必要不可欠である。本講義では、経済分析に必要な経済統計の意味を理解するとともに、様々な経済統計をもとにして日本経済の現状を解説してゆく。
到達目標	経済統計の意味を理解し、データをもとにして日本経済の現状を理解できるようになる。
事前事後学習	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
		1	経済統計とは何か
		2	日本の財政
		3	GDPとは何か(フローとストックについて)
		4	GDPとは何か(付加価値、総額と純額について)
		5	一人当たりGDP、GDP成長率
		6	GDP成長率の計算
		7	インフレーション、デフレーション、消費者物価指数
		8	失業率、スタグフレーション
		9	銀行の役割、信用創造、金融政策
		10	円高と円安
		11	マネタリーベースとマネーストック
		12	経済循環
		13	三面等価の原則
		14	経済成長率と寄与度・寄与率
		15	小テスト

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。

成績評価方法	評価割合
定期試験	60%
レポート	
小テスト	20%
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	20%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『経済統計入門』 中村隆英著　東京大学出版会
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、国際経済論、総合政策論
資格等	なし

科目名

英会話Ⅱ

《2単位（演習）／経営福祉学科2年後期／卒業選択》

担当者	村橋 哲也	実務経験	

授業の概要	英会話Iで学んだ知識をもとに、さらに高度な英文法を学び、自分の意見や感情を表現できるように授業の中で練習を通して実践英会話を学ぶ。
到達目標	自分の意見や感情を表現できるようになることを目的とする。
事前事後学習	予習、復習に加え、クラスでの積極的な姿勢を期待する。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	後期	回	後期
1	動詞-ING形	16	流れを整える
2	TO 不定詞1	17	What did you do last night? Part A
3	TO 不定詞2	18	What did you do last night? Part B
4	TO 不定詞3	19	What's the weather ilike? Part A
5	過去分詞形1	20	What's the weather ilike? Part B
6	過去分詞形2	21	Do you have any plans for New Year? A
7	節1	22	Do you have any plans for New Year? B
8	節2	23	Review 1
9	疑問文	24	What does he look like? Part A
10	さまざまな配置転換1	25	What does he look like? Part B
11	さまざまな配置転換2	26	What's it like? Part A
12	時表現1	27	What's it like? Part B
13	時表現2	28	How was your trip? Part A
14	接続詞1	29	How was your trip? Part B
15	接続詞2	30	Review 2

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	30%
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	50%
平常点・授業への貢献度	20%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	有
スピーチ	有
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	GET BY IN ENGLISH 2 ″Elementary″ Julyan Nutt et.al. SANSHUSHA
参考文献・推薦図書	一億人の英文法　大西泰斗、ポール・マクベイ
関連のある授業科目	英会話I
資格等	

科目名

英語基礎

《1単位(演習)／経営福祉学科2年後期／卒業選択》

担当者	村橋　哲也	実務経験	

授業の概要	基礎的な英文法を学び、英語を読む、書くに慣れ、プレゼンテーションなど実践的な英語力の練習を行う。
到達目標	英文を読み、概要を理解することができる。 基本的な英文法の理解することで、簡単な英語の作文が可能となる。
事前事後学習	単語や文法の復習をする

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				

試験実施の有無	実施する	実施しない
	○	

授業計画（項目・内容）

回	前期	回	後期
		1	Shop Names
		2	How to Get a Seat on a Train
		3	False Rumors and Panic Buying
		4	Keeping Your Smartpnone Clean
		5	Staying Safe While Walking
		6	Colorful Hairstyles
		7	Smartphone Cameras
		8	Smartwatches
		9	Have You Joined a Club or Circle?
		10	Are Typhoons Becoming More Dangerous?
		11	Learning English Through Gaming
		12	Maroon 5
		13	Walking and Talking
		14	Are You Going Cashless?
		15	Shibuya Halloween

授業外学習内容とその時間	
課題のフィードバック方法	

成績評価方法	評価割合
定期試験	70%
レポート	
小テスト	
発表（プレゼン・スピーチ等）	
平常点・授業への貢献度	30%
その他	

アクティブラーニング	有無
ディスカッション	
プレゼンテーション	
スピーチ	
ロールプレイ	
教室外学習	
その他	

テキスト	READ ON, THINK ON「考える」基礎英語っ読本　Jonathan Lyfnch, et.al. SANSHUSHA
参考文献・推薦図書	
関連のある授業科目	英語応用
資格等	